

極秘

内閣閣甲第二九七號

昭和十八年九月二十一日

内閣書記官長

各省大臣殿（各通）

現情勢下ニ於ケル國政運営要綱別紙ノ通閣議決定相成候ニ就テハ右要
綱ノ實行案トシテノ貴省關係事項ニ關スル措置案來ル二十六日正午迄
ニ御提出相成度命ニ依リ照會ニ及ビ候

追テ右措置案ハ特ニ機密ノ取扱トセラレ度又御提出ノ際ハ其ノ寫十
部添附相煩度

現情勢下ニ於ケル國政運営要綱

方針

内外ノ現時局ニ鑑ミ悠久ナル國體觀念ニ徹シ愈々必勝ノ信念ヲ堅ウシ、各種ノ施策ヲ完勝ノ一點ニ集中シ、以テ、聖戰目的ヲ完遂セントス。之ヲ爲

一、統帥ト國勢トノ關係ヲ更ニ緊密化シ、其ノ間ニ寸隙ナカラシメ、雄渾活潑ナル戰爭指導ノ進行ヲ期ス。

二、雄渾活潑ナル作戰ニ即應シ國內諸般ノ態勢ヲ徹底的ニ強化ス。

三、戰爭完遂ノ一環トシテ機敏潑刺タル外交ヲ行フ。

國內態勢強化方策

第一、國內態勢強化ノ目標ヲ左ノ諸點ニ置ク。

一、官民ヲ舉ゲテ常ニ今永聖戰ノ本義ニ徹セシムルヲ共ニ其ノ容易ナラザル六業ナルコトヲ覺悟セシメ、愈々必勝ノ信念ヲ以テ、不屈不撓、盡忠報國ノ誠ヲ致サシム。

二、鋼力ヲ擧ゲテ軍需生産ヲ急遽増強ヲ圖リ、特ニ航空取力ノ躍進的擴充ヲ圖ル。

三、日滿ヲ通スル食糧ノ絶對的自給態勢ヲ確立ス。

四、國內防衛態勢ノ徹底強化ヲ圖ル。

第二、國內態勢強化ノ爲特ニ執ルベキ方途左ノ如シ。

内閣 一、今次聖戰ニ對スル應得ヲ確立シ、民心ノ作興ヲ期シ、國內言論ノ指導ヲ強化スルト共ニ、國內諸般ノ取締ヲ強化シ、苟モ國論分裂ノ虞アル者ニ對シテハ徹底的ノ措置ヲ講ズ。

二、行政運営ノ決戦化ヲ圖ル。

之ヲ爲

内閣 (1) 政務執行ノ敏速化ノ徹底ヲ圖ル。

企畫院 (2) 中央各廳業務ヲ徹底的ニ地方廳ニ移譲スルト共ニ地方行政ノ簡

素敏活ヲ圖リ、同地方行政協議會ノ機能ヲ強化ス。

大藏省 (3) 豫算ノ徹底的單純化。

企畫院 (4) 官廳事務ノ徹底的簡素化就中許可認可事項ノ整理特ニ重要企業

ニ對スル書類監督制ノ廢止、監督系統ノ簡易化、決戦ニ不必要ナル行政事務ノ廢止ヲ徹底的ニ行フ。

企畫院 (5) 行政機構ヲ整理シ、其ノ徹底的簡素化ヲ圖ルト共ニ決戦行政遂

行ノ態勢ヲ整ヘシム。

各省 (6) 作業廳ノ施設或ニ人員ノ能率ノ徹底向上ヲ圖ル。

各省 (7) 前各廳ニ關聯シ、再ビ官廳人員ノ大中縮減ヲ行フ。

陸海軍 (8) 重工業生産ニ對スル軍官委任ノ統一ヲ圖ル。

内閣 (9) 一層官紀ノ肅正ヲ圖リ之カ爲必要ナル措置ヲ講ズ。

内閣 (10) 官廳職務ノ決戦化ヲ圖ル。

(註) 時間ノ絕對的勵行、土曜半体制ノ廢止ヲ行ヒ、且晝夜ヲ

通ジ、又休日ト雖モ、官廳ノ機能ヲシテ斷續ナク運行シ
シムル如ク措置ス。

陸海軍
生部

三、國民動員ノ徹底ヲ圖ル。

之ガ爲

(1) 一般職業訓練ヲ停止シ理工科系統ノ學生ニ對シ、入營延期ノ制
ヲ設ク。

理工科系統ノ學校ノ整備擴充ヲ圖ルト共ニ法文科系統ノ大學、
專門學校、統合整理ヲ行フ。

普通教育ノ爲ニ必要ナル教員ノ確保ヲ圖ルト共ニ其ノ採用ニ付
テハ廣シ道村ヲ得ルノ措置ヲ講ズ。

回生系統用ノ範圍ヲ擴大普遍化シ、時種技術ヲ掌ル者以外ノ除外
例ヲ撤廢ス。

(4) 女子ノ動員ヲ強化ス。

(5) 遠ニ勤勞用ニ適正ヲ圖ル。

各省
(6) 停年制ヲ撤廢スル等各區域ニ於ケル年齢ノ制限ヲ撤廢シ高齢者
ノ活用ヲ圖ル。

(7) 第三九一〇項ニ基ク官廳等ノ整理ニ依リテ、生ズル所ノ人員ハ、
綜合的計畫ノ下ニ、悉ク之ヲ統制進行ニ與ヒシム。

文部

(8) 義務教育ノ八年制ヲ引續キ延ばス。

且、國內高等學堂ノ徹底強化ノ爲、特ニ左ノ方途ヲ執ル。

内務省

(イ) 国内防衛行政ノ統一の運営ヲ圖ル。

(ロ) 國家重要ノ地區、軍事上重要ナル施設並ニ軍事上重要ナル工場、鑛山ニ對シ極力防空ヲ強化ス。

内務省

(ハ) 帝都及重要都市ノ防衛ヲ全クスル爲ニ之等ノ都市ニ於ケル官廳

工場、家屋等ニ對シ必要ナル整理ヲ行フ。

各省

之ガ爲官廳ハ率先シテ措置ヲ講ズ。細目ハ別紙ノ如シ。

公共團體、各種外廓團體、各種統制機關、統制會社等ハ官廳ニ準ジ、所要ノ整理ヲ行フモノトス。

企業院

(ニ) 前號ニ關聯シ、速ニ官廳其ノ他ノ後稱並ニ人員ノ地方分散ノ綜合的計畫ヲ樹立實行ス。

内務省

(イ) 民間ノ企業整備ヲ促進シ、官廳ノ整理ニ準ジテ、帝都及重要都市ニ

於ケル家屋店舖ノ整理ヲ行フ。

商工省

重要企業ノ國家性ヲ經營上更ニ明確ナラシメ生産責任制ヲ確立セ

シムル如ク諸般ノ措置ヲ講ズ。

企業院 六、海陸輸送ノ一貫的強化ヲ圖ル。

大藏省 七、租稅及國民貯蓄ヲ更ニ強化シ徹底的ニ資金ノ戦力集中ヲ圖リ其ノ效果ヲ最大限ニ發揮セシム。

企業院

八、價格及配給制度ノ徹底的簡素化ヲ圖ル。

各省 九、各種外廓團體ハ官廳ニ準ジ之ヲ整理シ及業務ノ運営ニ徹底的刷新ヲ圖ル。

各省一〇、各種統制機關並ニ統制會社等生産第二線部面ニ對シ徹底的整理
ヲ行フト共ニ其ノ業務及事務ニ付キ、官廳ニ準ジテ徹底的刷新ヲ
行ヒ、其ノ人員ヲ縮減ス。

備考

方針一、及三ニ關スル方策ニ付テハ別途考究ス

(別紙)

帝都及重要都市ノ防衛ニ關シ官廳ノ措置

スベキ細目

- 一、官設工場ニ付テハ其ノ業務ヲ地方工場ニ移管シ、之ヲ廢止ス。
 - 二、要領第三項ノ(1)號ノ措置ニ即應シ、學校校舍ノ整理ヲ行フ。
 - 三、官廳事務ノ徹底簡素化ニ即應シ官廳廳舎ノ整理ヲ行フ。
- 又帝都並ニ重要都市ニ存在スルコトヲ必要トセザル各種官廳施設ノ地方移轉ヲ行ヒ、其ノ廳舎ヲ整理ス。
- 之等ニ關聯シテ官廳廳舎ノ再配置ヲ行ヒ防空設備良好ナルモノニ集中シ、脆弱ナル廳舎ハ、之ヲ撤去疎開ス。